

問1	地球内部の構造において、震源から見て地球の反対側に位置し、地震波が直接到達しない、あるいは観測されにくい範囲を何と呼ぶか。（2006年全国公立入試 類似）			
	1. 地殻の反射帯	2. 地震波のかげの領域	3. 震源の直下領域	4. マントルの対流圏
問2	中央海嶺において、マントル物質が上昇し溶融して生成される海洋地殻の主成分となる岩石として、最も適切なものはどれか。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 流紋岩	2. 玄武岩	3. 花こう岩	4. 安山岩
問3	暖かい海水域の上方で空気が暖められ、上昇気流が生じている状況において、海面付近の気圧配置と海水の挙動として最も適切なものはどれか。（2008年 全国公立入試 類似）			
	1. 海面付近は高気圧となり、暖かい海水域から周囲に向かって海水の流れが生じる。	2. 海面付近は高気圧となり、周囲から暖かい海水域に向かって海水の流れが収束する。	3. 海面付近は低気圧となり、暖かい海水域から周囲に向かって海水の流れが拡散する。	4. 海面付近は低気圧となり、周囲から暖かい海水域に向かって海水の流れが生じる。
問4	マグマの貫入に伴い、周囲の岩石がその熱によって変成を受ける現象を何というか。（2006年 全国公立入試 類似）			
	1. 広域変成作用	2. 接触変成作用	3. 風化作用	4. 堆積作用
問5	変成岩の形成過程に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2009年 全国公立入試 類似）			
	1. 結晶片岩は、マグマの熱のみによって形成されるため、鉱物の配列に方向性が見られない。	2. ホルンフェルスは、広範囲にわたる高い圧力を受けて形成されるため、顕著な片理構造が発達する。	3. 広域変成岩は、マグマの貫入による局所的な熱変成によって形成され、結晶片岩などが代表例である。	4. 接触変成岩は、マグマの熱による変成作用が支配的であり、ホルンフェルスなどが代表例である。
問6	地質学における「切断の法則」に基づき、地質構造の形成順序を判断する考え方として最も適切なものはどれか。（2005年 全国公立入試 類似）			
	1. 褶曲構造は常に断層よりも後に形成されるため、褶曲の有無で形成順序を決定する。	2. 岩脈は周囲の地層よりも常に古く形成されるため、岩脈の存在を基準に判断する。	3. 地層の重なりにおいて、下位にある地層ほど後に形成されたと判断する。	4. 他の構造を切断している構造は、切断されている構造よりも後に形成されたと判断する。
問7	砂岩層において、地層面に対して約30度傾いた縞模様が観察されることがある。この堆積構造の名称として最も適切なものはどれか。（2004年全国公立入試 類似）			
	1. 節理	2. 斜交層理	3. 片理	4. 断層
問8	地球の公転運動が直接的な原因となって生じる現象として、最も不適切なものを次の中から一つ選べ。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 恒星の年周視差	2. 恒星の年周光行差	3. 火星の逆行運動	4. フーコーの振り子の振動面の回転
問9	海洋において、波長が水深に比べて十分に大きい長波が発生した。水深が 4000 m の海域におけるこの長波の伝播速度として最も適当な数値を、次のうちから一つ選べ。ただし、重力加速度の大きさを 10 m/s ² とし、長波の伝播速度 v は、重力加速度 g と水深 h を用いて $v = \sqrt{g \cdot h}$ と表されるものとする。（2004年 全国公立入試 類似）			
	1. 40 m/s	2. 400 m/s	3. 20 m/s	4. 200 m/s
問10	エルニーニョ現象が発生している期間の赤道域における海洋と大気の間相互作用に関する記述として最も適当なものはどれか。（2008年 全国公立入試 類似）			
	1. 混合層内の海面水温が平年より高くなり、地球規模の異常気象を引き起こす	2. 台風の発生頻度が低下し、赤道域の海面付近の風が完全に停止する	3. 数十年周期で発生し、混合層の厚さが一定に保たれることで気候が安定する	4. 海面水温の低下により、数日単位で急激な気象変動が繰り返される
問11	プレートが発散境界である中央海嶺において発生する地震の特徴として、最も適切なものはどれか。（2013年 全国公立入試 類似）			
	1. マグマの貫入が主因であり、プレートの運動とは無関係に巨大地震が発生する。	2. プレートが沈み込む場所であるため、深さ600kmを超える深発地震が多発する。	3. プレート同士がすれ違う横ずれ断層運動のみが起こり、地震はほとんど発生しない。	4. プレートが互いに離れる場所であるため、主に浅い震源を持つ地震が頻繁に発生する。
問12	輝石の構造に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2008年 全国公立入試 類似）			
	1. SiO4四面体が網目状に広がり、三次元的な骨格を形成している。	2. SiO4四面体が頂点を共有して一列に連なる鎖状構造を持つ。	3. SiO4四面体が独立して存在し、金属イオンを介して結合している。	4. SiO4四面体が二列に連なり、複鎖状構造を形成している。
問13	地層が形成された地質時代を決定するのに有効な化石を何と呼ぶか。（2009年 全国公立入試 類似）			
	1. 示準化石	2. 示相化石	3. 遺骸化石	4. 生痕化石
問14	気象衛星の可視画像において、日本列島付近に東西に長く伸びる雲の帯が停滞している様子として、最も適切な気象現象はどれか。（2005年全国公立入試 類似）			
	1. 梅雨前線	2. 台風	3. 寒冷前線	4. 熱帯低気圧
問15	上空において、気圧傾度力と転向力がつり合い、等圧線に平行に吹く風を何と呼ぶか。（2012年 全国公立入試 類似）			
	1. 貿易風	2. 偏西風	3. 地衡風	4. 季節風
問16	雲粒の落下速度に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2014年 全国公立入試 類似）			
	1. 雲粒の大きさが大きいほど、空気抵抗の影響で落下速度は遅くなる。	2. 雲粒の落下速度は、空気抵抗を受けないため自由落下と同じになる。	3. 雲粒の落下速度は、粒の大きさに関わらず一定である。	4. 雲粒の大きさが大きいほど、一般に落下速度は速くなる。